

有理ベジエ曲線のド・カステリヨのアルゴリズム：

平面 \mathbb{R}^2 (あるいは空間 \mathbb{R}^3) の $n + 1$ 個の点 b_0, b_1, \dots, b_n と正の実数 w_0, \dots, w_n と実数 $t \in \mathbb{R}$ に対して, $w_i^0(t) = w_i, b_i^0(t) = b_i$ とし,

$$w_i^r(t) = (1 - t)w_i^{r-1}(t) + tw_{i+1}^{r-1}(t)$$
$$(r = 1, \dots, n; i = 0, 1, \dots, n - r)$$

とおき、

$$b_i^r(t) = (1 - t) \frac{w_i^{r-1}(t)}{w_i^r(t)} b_i^{r-1}(t) + t \frac{w_{i+1}^{r-1}(t)}{w_i^r(t)} b_{i+1}^{r-1}(t) \quad (13)$$
$$(r = 1, \dots, n; i = 0, 1, \dots, n - r)$$

とおく。

中間点 $\mathbf{b}_i^r(t)$ は, r 次のベルンシュタイン多項式を用いて,

$$\mathbf{b}_i^r(t) = \frac{\sum_{j=0}^r w_{i+j} \mathbf{b}_{i+j} B_j^r(t)}{\sum_{j=0}^r w_{i+j} B_j^r(t)} \quad (14)$$

$$(r = 0, 1, \dots, n; i = 0, 1, \dots, n - r)$$

と表せる.

特に, $r = n$ のとき, 有理ベジエ曲線

$$\mathbf{b}_0^n(t) = \frac{\sum_{j=0}^n w_j \mathbf{b}_j B_j^n(t)}{\sum_{j=0}^n w_j B_j^n(t)} = \mathbf{x}(t)$$

を得る.

証明はベジエ曲線のド・カステリョのアルゴリズムにおける中間点の場合と同様である.

例 6. ベジエ点を $b_0 = (1, 0)$, $b_1 = (1, \frac{4}{5})$,
 $b_2 = (\frac{8}{25}, \frac{36}{25})$, $b_3 = (-\frac{7}{10}, \frac{7}{5})$, $b_4 = (-\frac{7}{5}, \frac{28}{45})$,
 $b_5 = (-\frac{49}{37}, -\frac{14}{37})$, $b_6 = (-\frac{28}{45}, -\frac{14}{15})$,
 $b_7 = (\frac{1}{10}, -\frac{4}{5})$, $b_8 = (\frac{9}{25}, -\frac{8}{25})$, $b_9 = (\frac{1}{5}, 0)$,
 $b_{10} = (0, 0)$, その重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 1$,
 $w_2 = \frac{10}{9}$, $w_3 = \frac{4}{3}$, $w_4 = \frac{12}{7}$, $w_5 = \frac{148}{63}$,
 $w_6 = \frac{24}{7}$, $w_7 = \frac{16}{3}$, $w_8 = \frac{80}{9}$, $w_9 = 16$,
 $w_{10} = 32$ とすると, $b_0^{10}(t)$

$$= \left(\frac{(1-t^2)(1-28t^2+70t^4-28t^6+t^8)}{(1+t^2)^5}, \frac{8t(1-t^2)^2(1-6t^2+t^4)}{(1+t^2)^5} \right)$$

$t = \frac{1}{2}$ におけるド・カステリョのアルゴリズムによる中間点 $b_j^r(t)$ の様子は図 12 のようになる. この曲線は極座標表示で $r = \cos(\theta/4)$ となる曲線の一部である.

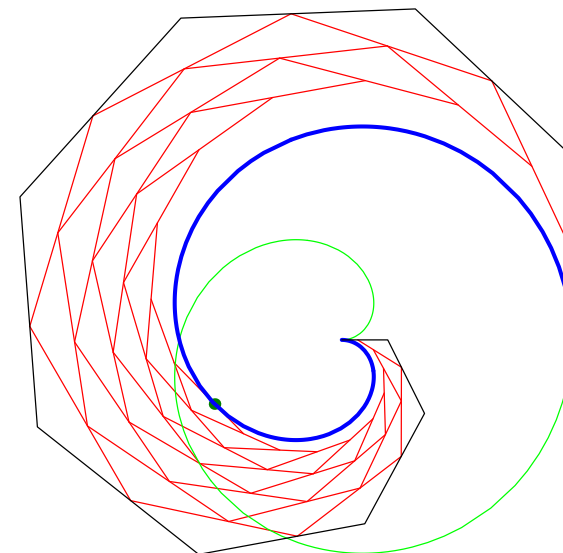


図 12

有理ベジエ曲線の次数上げ, 導関数

ベジエ曲線の場合と同様に, 有理ベジエ曲線の形状を変えないようにベジエ点と重みを1個追加することができる. これが有理ベジエ曲線の次数上げである. 平面 \mathbb{R}^2 (あるいは空間 \mathbb{R}^3) の $n+1$ 個の点 $\mathbf{b}_0, \mathbf{b}_1, \dots, \mathbf{b}_n$ と (正の) 実数 w_0, \dots, w_n と実数 $t \in \mathbb{R}$ に対して, $w_i^{(1)}, \mathbf{b}_i^{(1)}$ を

$$w_i^{(1)} = \frac{i}{n+1} w_{i-1} + \left(1 - \frac{i}{n+1}\right) w_i$$

$$\mathbf{b}_i^{(1)} = \frac{i}{n+1} \frac{w_{i-1}}{w_i^{(1)}} \mathbf{b}_{i-1} + \left(1 - \frac{i}{n+1}\right) \frac{w_i}{w_i^{(1)}} \mathbf{b}_i, \quad (i = 0, \dots, n+1)$$

で定義すると, n 次の有理ベジエ曲線 $\mathbf{b}_0^n(t)$ は, $\mathbf{b}_i^{(1)}$ をベジエ点とし, その重みを $w_i^{(1)}$ とする $n+1$ 次の有理ベジエ曲線 $\tilde{\mathbf{b}}_0^{n+1}(t)$ と一致する. これはつぎのように使われる.

例 7. ベジエ点を $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1 = (0, 1)$, $\mathbf{b}_2 = (-1, 0)$ とし, その重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 0$, $w_2 = 1$ とすると, 有理ベジエ曲線

$$\mathbf{b}_0^2(t) = \left(\frac{1 - 2t}{1 - 2t + t^2}, \frac{2(1 - t)t}{1 - 2t + t^2} \right)$$

は半円となる. これを次数上げすると, ベジエ点は $\mathbf{b}_0^{(1)} = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1^{(1)} = (1, 2)$, $\mathbf{b}_2^{(1)} = (-1, 2)$, $\mathbf{b}_3^{(1)} = (-1, 0)$ で, その重みは $w_0 = 1$, $w_1 = 1/3$, $w_2 = 1/3$, $w_3 = 1$ となる.

例 8. 例 3 で円全体をあらわす有理ベジエ曲線を考えたが, これはどのように求められるかを考えてみよう.

$(-\cos 2\theta, \sin 2\theta)$ ($0 \leq \theta \leq \pi$) は円全体をあらわす.

$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2 \theta$, $\sin 2\theta = 2\sin \theta \cos \theta$ に注意して,

$\sin \theta = \frac{2t}{1 + t^2}$, $\cos \theta = \frac{1 - t^2}{1 + t^2}$ を代入し, t を $2t - 1$ と変換すると,

円全体は

$$\mathbf{x}(t) = \left(-1 + \frac{8(1-2t)^2}{(1+(1-2t)^2)^2}, \frac{4(1-t)t(2t-1)}{(1-2t+2t^2)^2} \right)$$

とあらわされる.

空間の4次ベジエ曲線として, ベジエ点を求めると, $(1, 0, 1)$, $(0, -1, 0)$, $(-1, 0, 1/3)$, $(0, 1, 0)$, $(1, 0, 1)$ となる. 次数上げを行って, $(1, 0, 1)$, $(1/5, -4/5, 1/5)$, $(-3/5, -2/5, 1/5)$, $(-3/5, 2/5, 1/5)$, $(1/5, 4/5, 1/5)$, $(1, 0, 1)$ を得る. 5次の有理ベジエ曲線として, ベジエ点と重みを求めると $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1 = (1, -4)$, $\mathbf{b}_2 = (-3, -2)$, $\mathbf{b}_3 = (-3, 2)$, $\mathbf{b}_4 = (1, 4)$, $\mathbf{b}_5 = (1, 0)$, $w_0 = 1$, $w_1 = 1/5$, $w_2 = 1/5$, $w_3 = 1/5$, $w_4 = 1/5$, $w_5 = 1$ となり, 例3のものが得られた.

つぎに、有理ベジエ曲線の導関数について考える。有理 n 次ベジエ曲線 $x(t)$ の $t = 0$ における導関数は

$$x'(0) = n \frac{w_1}{w_0} (b_1 - b_0),$$

$$x''(0) = n(n-1) \frac{w_2}{w_0} (b_2 - b_0) - \frac{2nw_1(nw_1 - w_0)}{w_0^2} (b_1 - b_0),$$

$$\begin{aligned} x'''(0) &= n(n-1)(n-2) \frac{w_3}{w_0} (b_3 - b_0) \\ &\quad - 3n(n-1) \frac{w_2(nw_1 - 2w_0)}{w_0^2} (b_2 - b_0) \\ &\quad - 3nw_1 \frac{(n^2w_0w_2 - 2n^2w_1^2 + 4nw_0w_1 - nw_0w_2 - 2w_0)}{w_0^3} (b_1 - b_0) \end{aligned}$$

のようになる。